



ていね 四季の森通信



2010年 4月24日 手稲さと川探検隊

まだまだ暖かくなりませんね。森で少しでも春とアイヌの息づかいを感じてくれたらいいな

今日見ることができる植物達



名まえ：福寿草《フクジュソウ》
アイヌ語名《チライアパツポ》

アイヌ語名は「イトウの花」という意味
この花が咲くころ、イトウが川を上ってくるかららしいです。

食用や薬用にならない花には名まえをつけなかったアイヌが、この花には特別に名まえをつけています。そこには、長い冬ごもりから開放される喜びがこめられているように思います。

ウエペケレ(昔話)の中でフクジュソウの女神は美しいとされ、黄金色に輝く瞳を持っていたとされています。



名まえ：蔞の薑《フキノトウ》
アイヌ語名：《マカヨ》

春に食べれる山菜のトップバター

雌雄が別に生えることは知られていますが、アイヌ語では何故か女の子のほうを「ピンネ・マカヨ」=男のフキノトウ 男の子のほうを「マツネ・マカヨ」=女のフキノトウと呼ぶそうです。いまどきの「草食系男子」「肉食系女子」のパイオニアなのかもしれないですね。

※引用・参考文献 「北の彩時記」 計良光範氏
(作成:ごとうなつこ)